

## 「田代小学校の上柴立棒踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

錦江町立田代小学校

### 2 学年・人数

5・6年生（計27人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和5年7月～9月 田代小学校校庭

令和5年7・8月（夏休み期間19:30～21:00）計5回 上柴立公民館

#### (2) 発表の日時・場所

令和5年9月24日（日） 第77回錦江町立田代小学校秋季大運動会  
（創立150周年記念大会）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

#### (1) 名称

上柴立棒踊り（かみしばたてぼうおどり）

#### (2) 由来

田代地区の棒踊りは、五穀豊穰や無病息災を願い、薩摩半島から百年ほど前に伝わったとされる。

#### (3) 構成等

鎌を使った「棒踊り」、6尺棒と木刀を使った「六尺棒踊」、そして道具を持たないで踊る「甚句節」の3種類の踊りから構成される。

### 5 保存会や地域との連携の具体

地元の文化を引き継ごうと保存会のメンバーが、小学校の夏休み期間を利用し、毎年5日間、夜の7時半から9時まで指導して下さる。主に保存会長と連絡を夏休み前にとり、日程を決める。5・6年生児童が4人一組となって隊列を組み練習し、大きなグループを形成する。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

今年度は、秋季大運動会が創立150周年記念大会ということもあり、上柴縦棒踊りの様子が9月30日付の南日本新聞で紹介された。記事として掲載されたことに対して、保護者や地域の方々からの喜びの声があり、本校の伝統と継承活動のよさを広く発信することができた。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【運動会で上柴立て踊りを発表した様子】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【6年生児童】

練習は大変だが，昨年練習して踊ったことを思い出しながら踊った。息を合わせたり，リズムを取ったりするのが難しいが，伝統を大切にしたいと改めて思った。

### 【教職員】

地域に継承していく伝統芸能があることは，とてもよいことだと思う。保存会の方々の思いや協力があり，受け継がれていくことに，大人から子供までつながる地域のよさを感じる。学校行事の中で行っているが，教職員として指導に携わり，継承活動が行えることは誇りに思う。

### 【保存会から】

集まれば，体が覚えていて踊ることができる。今後も，上柴立て棒踊りが踊り継がれていくように願っている。正しく踊ることができる後継者の育成も課題である。

### 【地域の方から】

上柴立棒踊りを見ると，田代という地域の風土を感じる。学校で伝統芸能の継承が行われていることについては，今後も続いてほしいと考えている。